

浪江町においでよ

藤橋地区のみなさん

藤橋地区では、主に、お米とタマネギ、ゆずみかんなど作っています。また、藤橋地区生産組合は、舞台ファームと協力しながらお米を作っています。今後、地域の担い手が不足する中、舞台ファームの生産技術や水稲管理の手法などを身近で勉強することで、彼らが持つノウハウを吸収し、藤橋地区の農地を守り伝えていきたいと考えています。



株式会社舞台ファーム 浪江支店長 志子田 勇司さん

現在、私たち舞台ファームは、浪江町と連携協定を結び、浪江町の復興のお手伝いをしています。その一環として、藤橋地区の皆さんと一緒に米づくりを行っています。米づくりを行うことで、緑の田園風景を取り戻せば、浪江町に活気が戻ってくると思います。私たちの農業のノウハウを生かして、浪江町の農業の復興に貢献していきたいと思っています。

農林水産課 課長補佐 大浦 龍爾

私たちの町が以前のにぎわいを取り戻すためには、農業の再生が不可欠、その想いで農家の方々とともに日々取り組んでいます。原発事故により、はからずとも全国的な知名度、いまだ回復困難な被災地という印象が強いところですが、いつの日にか『浪江町? ああ農業で有名だね〜。特に花がきれいだよね』となる日が来ることを信じています。



町長からのメッセージ



浪江町は、豊かな水と太陽に育まれ、古代から農業を基幹産業として発展してまいりました。東日本大震災と原子力発電所の事故により大きな被害を受けましたが、浪江町の自然環境を活かして栽培された農産物は、生産者の方々の努力によって、今日では市場で高い評価を得るまでになりました。引き続き、浪江町では、農業を町の発展に重要な産業と捉え、これから新たに就農される個人や農業法人の方々を歓迎し、全力で応援する体制を整えています。

是非、浪江町の恵まれた風土の中で農業を始めてみませんか。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

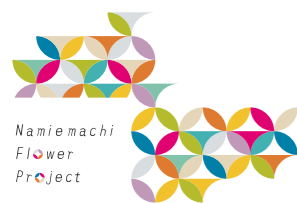
浪江町長 吉田 数博

応援寄附による復興の応援もよろしくお願いします!



浪江町ふるさと応援寄附 (ふるさと納税)

<https://www.furusatotax.jp/city/info/07547>



一輪を大輪に。丁寧な、大切に。花を育むように、人も育む浪江町です。

浪江フラワープロジェクトの最新情報をホームページで!

<https://www.namie-flower.jp>



Facebookもチェック

浪江町 農林水産課農政係

〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL: 0240-23-5706

<http://www.town.namie.fukushima.jp>



浪江町は、日本一農業が盛んなまちを
目指しています。



福島県浪江町



エゴマの収穫 (藤橋地区)

田植え (藤橋地区)

花木 (小野田地区)

収穫前の水田 (酒田地区)

トルコギキョウ (幾世橋地区)

浪江の宝は、「人」



あの日から6年が経過した2017.3.31に、ようやく浪江町の避難指示が一部解除されました。私たち浪江町民の誰もが、こんなにも長い間、ふるさとに戻れなくなるとは想像もしていませんでした。もともと2万1千人が住んでいた町ですが、2019.7.31現在の居住人口は約1,000人とどまっています。避難の長期化により、避難先での新しい生活が定着してしまったことも大きな要因です。20時には閉まってしまうコンビニ、数百店あった飲食店もいまは指で数えられる程度。そんな浪江町ですが、可能性だけは満ち溢れています。元通りにすることは難しいですが、前より良い町にすることは可能です。かつて江戸時代の天明の大飢饉で、この地域の人口が激減した時代がありましたが、先人たちは見事に危機を乗り越えました。私たちは、震災と原発事故の影響も必ず乗り越えられると信じています。そのためには、あなたの力が必要なのです。「浪江の宝は、『人』」。震災を経験し、全国の方々に支えてもらったからこそ、人を思いやる風潮や感謝の気持ちが町全体に広がりを見せています。ここに住み暮らし、私たちと一緒に新しい浪江町の未来を創りませんか。みなさまのお越しを心より歓迎します。

写真は、特定非営利活動法人 Jin の皆さん

浪江町へのアクセス

○ 鉄道：常磐線 浪江駅

- いわき駅から約100分、仙台駅から約110分
現在富岡駅～浪江駅間でバス代行輸送
2020年3月末までに運転再開予定

○ 道路：常磐自動車道 浪江IC

- いわき中央ICから50分、仙台東ICから70分
国道114号 福島市から100分



浪江町で待ってるよ!

浪江町公式 キャラクターうけどん



生活情報

○ 教育

- 浪江にじいろこども園 (幼保連携型認定こども園)
- なみえ創成小中学校



浪江にじいろこども園



なみえ創成小中学校

○ 医療・福祉

- 浪江診療所・豊島歯科医院・浪江町社会福祉協議会

○ 買い物

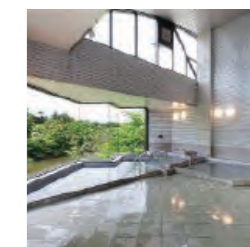
- スーパー イオン浪江店
- コンビニ ローソン2店舗
- 仮設商業共同店舗施設「まち・なみ・まるしえ」
日用雑貨・クリーニング取次等

○ 福島いこいの村なみえ

「くつろぎと安心」「集いの場」
を提供する宿泊機能を備えた
施設、日帰り入浴も可



<https://www.iko-namie.com/>





情報収集

自分がやりたい
農業のイメージを作りましょう!
(作付け品目・労働力・販売先など)

1

- 就農フェアへの参加
- 市町村・JA・農林事務所等の窓口での相談
- バスツアー・就農体験への参加



技術の習得

農作業や生活を体験して
就農のイメージを固めましょう

2

- 研修計画の作成・研修の実施



就農準備

就農に必要なものを準備しましょう

3

- 生産・販売・資金調達の計画
- 資金・農地・機械・施設・住宅の確保
- 農地の規模(具体例)○○ha など
- 「認定新規就農者」認定のための就農計画の作成



就農開始

4

農業をはじめると就農への補助・支援制度

事業名	問合せ先	概要	条件・備考	個人	法人
交通費 福島県相双地方 交通費等助成事業 	福島県 相双地方 振興局 TEL: (0244) 26-1142	【対象】 相双地方以外に住んでいる者が、相双地方へ就職を目的とした面接、インターンシップ、ワーキングホリデー、その他就職体験等を行う場合 【助成の内容】 ・交通費 上限30,000円 (居住地から企業等までの往復の交通費から3,000円を減じた額) ・宿泊費 5,000円/泊 最大60,000円	・宿泊は原則、 相双地方の宿泊施設 へ宿泊すること ・飲食代は除く	○	×
住居 浪江町移住・定住促進 住宅取得事業補助金 (来てふくしま住宅取得支援事業) 	浪江町 まちづくり 整備課計画係 TEL: (0240) 34-0277	【対象】 平成23年3月11日時点で住民登録がなく、平成29年3月31日以降に浪江町に転入し、新たに住宅を新築または購入された方 【補助の内容】 県の補助基本額最大100万円、浪江町の追加補助最大45万円	・3年以上継続して定住し、 交付年度内に移住が完了 すること ・福島県が交付する補助 基本額+要件を満たせば 浪江町から追加補助加算	○	×
住居 福島県空き家・ ふるさと復興支援事業 	福島県 相双建設 事務所 建築住宅課 TEL: (0244) 26-1223	【対象】 福島県外からの移住者が行う空き家改修費用の一部 【補助の内容】 ハウスクリーニング補助上限40万円、リフォーム補助工事費の1/2 (最大150万円) ※18才未満の子どもがいる世帯の場合、リフォーム補助60万円加算(最大計210万円)	・「来てふくしま住宅取得 支援事業」と併用可	○	×
資金 農業次世代人材 投資資金(経営開始型) 	浪江町 農林水産課 農政係 TEL: (0240) 34-0245	【対象】 認定新規就農者 【補助の内容】 年間最大150万円を交付 ※農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間	・就農予定時の年齢が、 原則50歳未満 ※その他いくつか要件有	○	×
資金 ふくしまの次代を担う 多様な担い手確保支援事業 	福島県 農業 担い手課 TEL: (024) 521-7381	【事業の内容】 地域の特色や急速に増加する農業法人など経営体個々に応じた新規就農者確保及び就農後間もない農業者等の育成。 人材募集、雇用対策、地域への対応、受皿の整備、教育連携、若者育成 など		×	○
資金 青年等就農資金 	日本政策 金融公庫 最寄りの支店に ご連絡ください	【対象】 認定新規就農者 【内容】 無利子の資金融資		○	○
資金 ふくしま農商工 連携ファンド事業 	福島県産業 振興センター 経営支援部 経営支援課 TEL: (024) 525-4035	【対象】 福島県内の農林漁業者と①～③のいずれかに該当する方との連携体 ①福島県内に事務所・事業所を有する中小企業者、NPO法人等 ②助成事業開始から1年以内に福島県内において創業する方 ③①又は②により構成するグループ 【対象事業】 ①新商品や新サービスに関する事業可能性調査 ②新たな技術の開発や既存技術を活用した新商品・新サービスの開発 ③試作品の開発・改良及び試作品等の市場評価の収集や展示会への出展など販路開拓に必要な事業 ④ ①～③を組み合わせた事業 【助成の内容】 経費の5分の4以内(最大600万円/年)		×	○

※浪江町では幅広い支援制度を用意しております。ご不明点は農林水産課までお問い合わせください。

新規就農者確保促進事業補助金

浪江町では、新規就農者のため、独自の家賃補助・収入補てんを行っています。

対象	補助内容	要件
・青年等就農計画の認定を受け、経営を開始した者(認定新規就農者) ・前年の所得が336万円を下回る者 ・補助終了後、5年以内に浪江町の認定農業者になる意思がある者	・収入補てん 100,000円/月 農業次世代人材投資資金(経営開始型) 受給者は50,000円/月 ・家賃補助 上限60,000円/月 (家賃が60,000円以下の場合はその金額)	・町内に住所を有する者 ・年間150日以上農業に従事する者 ・町税の未納が無い者 ※交付決定から2年以内かつ経営開始日から5年以内
他産業から新たに町内の ①農業法人等に就職し農業に従事する者 (雇用就農者) ②農業法人等で農業の研修を受ける者 (就農研修生)	町内の賃貸住宅の家賃補助 上限60,000円/月 (家賃が60,000円以下の場合はその金額)	・町内に住所を有する者 ・年間150日以上農業に従事する者 ・町税の未納が無い者 ※交付決定から2年以内 ※交付決定から2年以内に青年等就農計画の認定を受けること

農地の相談について

浪江町では、農地を必要としている方々のご相談に、いつでも応じています。窓口にご来訪いただく、又はお電話でご連絡いただければ幸いです。

浪江町 農林水産課(農業委員会事務局)
〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL: 0240-23-5706
窓口対応時間: 平日8時30分～12時、13時～17時15分



東京農業大学との取り組み

浪江町では、「大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業」の一環として、平成30年度に東京農業大学と連携協定を結び、浪江町と東京農業大学、(株)舞台ファームが「営農再開・担い手育成のコンソーシアム」を形成し、農の振興を基軸とした活動に取り組んでいます。今後、学生の交流や新たな農業の一環として加工品の開発を行い、町の農業再生に必要な事業を実施します。



東京農業大学の学生と浪江町農家とのワークショップ風景

春



景観作物の花畑

夏



酒田地区の水田

秋



エゴマの収穫

冬



長ネギの収穫

浪江町の農業・農作物

新たな営農モデルの構築を掲げる町では、風評被害が少なく、安定した農業経営が目指せる花き栽培の推進に力を入れています。また、浪江町内の各地区では、地域農業の再生を図るため、農事復興組合を設立し、農地の保全管理を主体とした取組を進めています。

生産者の中には、農業生産をIT技術で支援する「みどりクラウド」を導入して、各々の圃場の様子を情報交換しながら、勉強会を開催して品質を高めています。

「天のつぶ」は2011年誕生の福島県のブランド米です。藤橋地区では、(株)舞台ファームが作付けを開始し、田園地帯を取り戻すための担い手となっています。

先輩農家からの指導を受け、エゴマの油だけではなく、ラー油やエゴマジャムなどの6次化商品を見据えて栽培しています。

水稲
(イネ科)



エゴマ
(シソ科)



トルコギキョウ
(リンドウ科)



花木



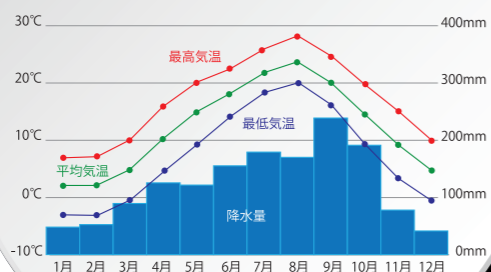
その他



ユーカリ・サカキ・オリーブなどの栽培を行っています。花木は、切り花に比べ手間がかからないため、通勤農業の主要作物として期待されています。

ベビーノ、ジャカラダ、青パイヤ、ゆずみかん、ウマブドウなどの珍しい農作物に挑戦している農家の皆さんも増えています。新しいことに挑戦できる、夢いっぱい浪江町です。

東日本型海洋性で
年間平均気温は約12.5℃。
温暖な気候が浪江町に大きな恵を
与えてくれています。



もっと浪江町を知ろう



NPO法人 Jin 吉田 実和さん

2019年4月から、浪江町にあるNPO法人Jinに勤め、トルコギキョウの栽培に携わっております！浪江町で働き暮らしてみたいと思ったきっかけは、町の方々の温かさや気候の良さを感じたことです！気候がとても良いので作物の栽培にも適した環境だと思います。浪江町は震災の影響を大きく受けた町ですが、だからこそ他の場所とは違い、希望や色々な可能性に満ち溢れた町だと私は思います。共に浪江町を再建し元気にしていきたいませんか？



NPO法人 Jin代表 川村 博さん

特定非営利活動法人Jinは、浪江町幾世橋地区で花や野菜を出荷、販売しています。花は、トルコギキョウを中心とした切り花を約65a作付けし東京の大田市場に年間を通し出荷しています。7人で取り組んでおります。野菜は、浪江に戻って来た高齢者が栽培し、直売所で販売しています。漬物やお惣菜もやっております。復興公営住宅に住む方々に喜んでもらっております。



新規就農者 和泉 亘さん

私は浪江町で新規就農することに決めました。多くの不安はありますが、今の状況だからこそ浪江町でチャレンジする甲斐があると思っております。簡単な道ではないと思いますが農業を通して得る生きる大切さや経験は大きいと思います。そして稼ぐ農業を仕事として作り上げていく面白さもあります。興味がありましたらぜひ浪江町(私)までお越しください！



石井農園 石井 絹江さん

私は、現在帰還困難区域となっている津島地区の赤宇木で農業を営んでいましたが、戻ることができないため、福島市で石井農園を営みながら、ふるさと浪江の復興に取り組んでいます。多くの人に元気を届けたい思いからエゴマ(じゅうねん)の加工品を作っています。商品化に向けてオメガ3脂肪酸、α-リノレン酸を豊富に含むエゴマを私達と一緒に作付けてみませんか。

浪江町関連サイト

【相双農ポータルサイト】

相双地方(福島県浜通りの相馬地方と双葉地方)の農業に関するさまざまな情報を網羅したサイトです。
<http://sousou-nougyo.jp>

【青年農業者等育成センター(公益財団法人福島県農業振興公社)】

「農業を始めたいけれど、どうすればいいか」といった初歩的な相談から、研修の実施や営農計画の作成といった相談など、幅広く相談に応じています。

<http://www.fnk-syunou.jp>



【なみえまるしえ】浪江のヒト、モノ、コト。あなたが覗きたくなるよう意外な視点から、なみえの今を切り取り、伝えるなみえ情報発信基地です。

<https://www.730.media/>

